平成19年度第1回愛知県生活習慣病対策協議会に出された「課題・要望」(概要)

分野	問題点·要望	今後の対応
健康日本 21 あいち 計画全体	健康づくりも愛知県の特徴を生かして展開してほしい。	来年度も「健康日本21あいち計画」の目標達成のため、新たな新規 事業を計画しています。 具体的には、長生きして良かったと思えるあいちづくり」を目指して、 「あいち健康の森」を拠点として、総合的な施策を展開しております。
	21 計画やエアフィーのマスコットキャラクターについて、一般市 民への啓発が必要ではないか。	今年度は、エアフィーやメタボ君のピンバッチを、4 万個程作成し、「健康日本21あいち計画」のPRをするとともに、キャラクターの普及を図っております。 また、9 月に、あいち健康プラザで実施した「県民健康祭」や保健所での、たばこの害や栄養バランス等のキャンペーンなど、啓発に努めております。
循環器疾患	循環器登録について、活用される形について検討すべき。(モデル地区等)	モデル地域を定めて事業を実施しますと、今後全県を対象としての 実施が困難となりますので、相対的に精度の高い地域を重点的に、届 出への働きかけをしていくことを検討していきます。
	循環器登録において、虚血性心疾患の届出数が増加しているが、その疾患の発生率が増加しているのか、単に届出数があがっているのか検証したい。	現在のところ、本登録事業では件数の増加がどちらの要因によるものかは把握できませんが、心疾患の死亡率を見ると微増の傾向にあります。
歯科保健	特定健康診査・特定保健指導時に活用される「質問票」の中に、咀嚼や歯周病、"歯の健康づくり得点"を入れて欲しい。 「健康日本21あいち計画」改定冊子の"第5章 関係機関の取組"において、糖尿病と歯科に関することで記載してほしい。	特定健康診査・特定保健指導の実施者である保険者等に対して、 「歯の健康づくり得点」の活用について、働きかけを行っていきます。 「糖尿病有病者の増加の抑制」の項目に、「重症化防止のための歯 周病に関する情報提供」を記載しました。
特定健康 診査・特 定保健指 導	特定保健指導を実施するアウトソーシング業者の質の確保に ついて、県としても検討して欲しい。	愛知県としては、平成20年1月末現在、特定健康診査・特定保健指導関係の研修会を、基礎編7回、技術編4回実施しているところです。そのうち、アウトソーシング事業者については、基礎編3回273人、技術編3回314人の参加者がありました。 更に、事業連携ができるように、この研修を終了した民間事業者の方々の機関情報を健康プラザのHPにupするとともに、メールマガジンを配信して、質の高い保健事業が行える体制づくりを行っております。また、県として、特定健康診査・特定保健指導研修会の委託事業として、医師会(会員数:2,417人)、歯科医師会(会員数:1,951人)、栄養士会(会員数:528人)に研修会の開催をお願いしています。